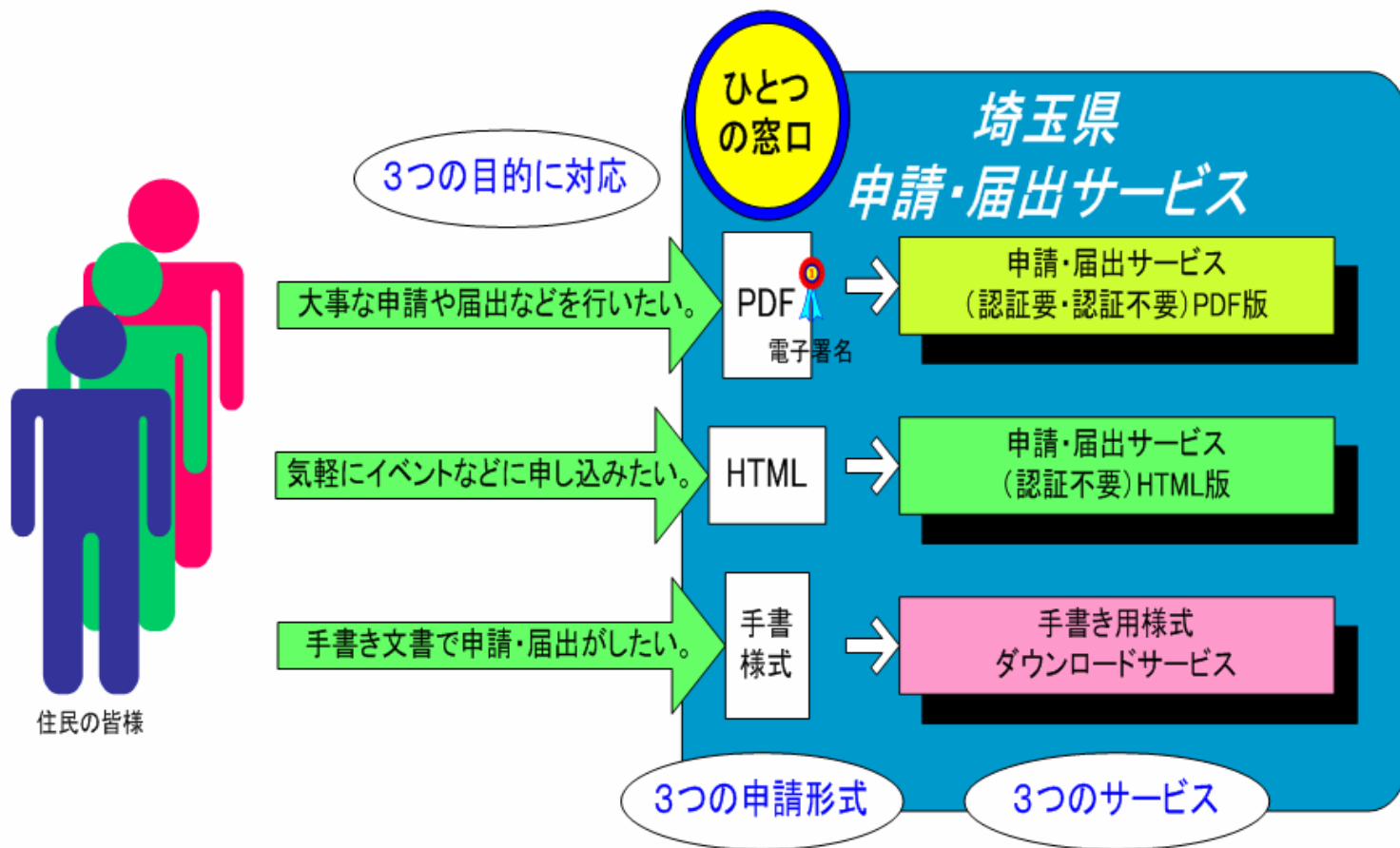


埼玉県 申請・届出サービス 概要

～リッチクライアントを使用した汎用電子申請構築事例～

2004年8月3日
埼玉県 総務部 IT企画室

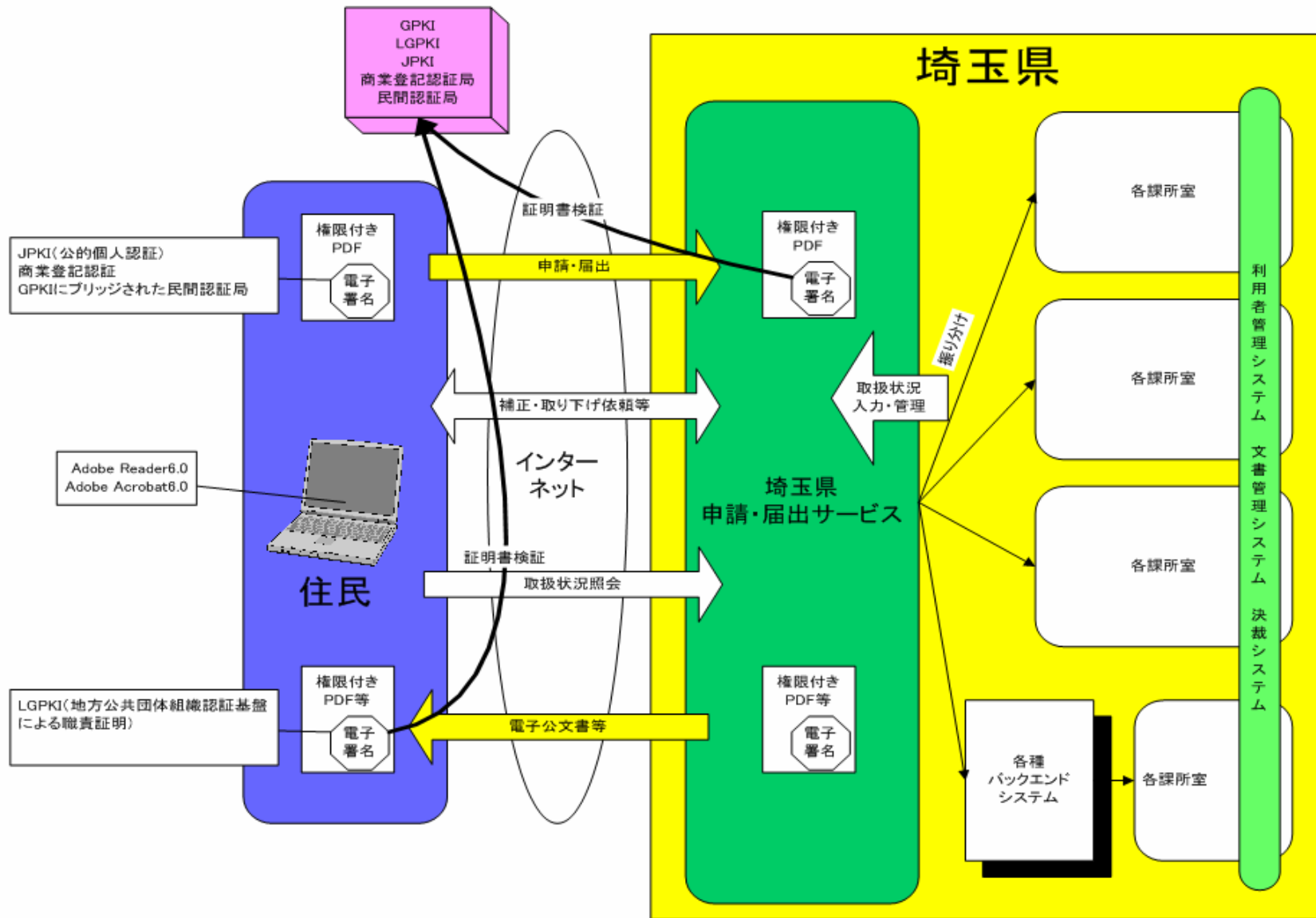
埼玉県 申請・届出サービス



- 平成15年4月1日
イベント・講演会参加申込等に対応した、簡易電子申請・届出受付システムを開始
- 平成16年8月2日
公的個人認証を初めとする各種認証サービスに対応した認証付き電子申請・届出受付システムを構築。上記の簡易電子申請・届出受付システム、県ホームページによる手書き用様式ダウンロードサービスも統合し、総合的な申請・届出サービスとしてスタート。

<https://eshinsei.pref.saitama.lg.jp/>

埼玉県 申請・届出サービスの概要



■ 特徴 ■

- 1 GPKIにブリッジされた全ての認証サービスに対応。
- 2 事前のユーザ登録が不要
- 3 PDFを申請フォームに利用し、分かり易いインターフェースを実装 + Adobe Readerをリッチクライアント的に活用
- 4 申請データのXML、CSV等をバックエンドシステム、EUCで活用可能

■特徴1

申請者の電子証明書を発行する認証局（GPKIブリッジ認証局と相互認証を行っている民間認証局等）による署名、証明書の検証がいつでも可能→流通方式の公文書等が可能

- [地方公共団体による公的個人認証サービス](#)
- [電子認証登記所\(商業登記認証局\)](#)
- その他政府認証基盤とブリッジ認証された民間認証局

■庁内からは、LGPKIのCVSサーバ利用により、全ての認証サービスの失効情報を確認

■住民はトラストポイントから該当する認証局までのパスを構築しリポジトリ確認

(DigitalPostサイナー(Adobe Readerのプラグイン)の機能)

■ 特徴2

事前のユーザ登録が不要

電子申請等を行う際に、各種認証サービスによる署名を行うため、事前のユーザ登録を不要とした。

過去の申請一覧を表示するためには、申請書に添付された電子証明書のsubject情報等からユニークな文字列を生成し、同一証明書による過去の申請等を一覧表示する

■特徴3

- 業界標準となっているPDFを、申請等のフォームとして利用
- 無償配布のAdobe Readerを、リッチクライアント的に活用
(Adobe Reader Extensions Serverの利用)

メリット

- Adobe Reader(無償配布)がクライアントにあれば電子申請が可能
(要プラグイン)
- 紙イメージとの一致による解りやすさ(印刷すれば紙と同じ)
- 複数の添付ファイルを一括して1ファイル(PDF)として取り扱える。(電子署名による改ざん防止が添付ファイルにも適用)
- 1ファイルになることにより、住民及び職員の書類の保存が容易で分かり易い。
- JavaVMのバージョンに左右されない

■ 特徴4

申請データのXML、CSV等をバックエンドシステム、EUCで活用可能

- ・PDFからXML(XFDF)形式にデータをサーバで自動的に抽出し、バックエンドシステムの要求に応じ、XMLのまま、あるいはCSVデータに変換し提供可能
- ・各職員がオンライン画面から申請の内容をPDFのまま、あるいはCSVデータとしてダウンロード可能となり、EUC(エンド・ユーザー・コンピューティング)を支援
- ・埼玉県庁内の文書管理システム、利用者管理システムと連携し、申請から起案決裁までを連結